

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書（健康支援部）

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
評価する領域・分野	・保健安全、給食、保健体育活動等
現状及びアンケートの結果分析等	・保護者の協力のもと、学校医をはじめ関係諸機関等と連携を密にしながら児童生徒の健康管理や安全について常に注意し、適切な対応を行うことができています。 ・医療的ケアや緊急時への対応、感染症対策等、様々なケースに確実に対応できるようにしていくことが求められている。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・一人一人の健康状態の把握、健康・安全に配慮した教育環境及び危機管理体制の整備と充実に努め、安全で安心した学校生活を送ることができるよう支援する。
重点目標を達成するための校内組織体制	・保健主事、養護教諭を中心に各学部主事や学級担任等と連携を図り、児童生徒の健康状態について把握したり、保健指導の場を位置付けたりする。 ・医療的ケア検討委員会、学校保健委員会などで学校医、指導医との連携を図る。また、緊急時の対応、医療的ケア、衛生管理等の最新の知識や情報について理解を深める場として職員研修を位置付ける。
目標の達成に必要な具体的取組	・歯磨き、手洗いの励行やマスクの使用等、毎月の保健目標をより具体化し、教材・教具、掲示物などを作成して保健指導を行う。 ・医療的ケアを必要とする児童生徒が日々の安全・健康保持ができるように、検討委員会、巡回指導を通して、病状やケアの内容について指導医と看護講師、担任等が連携を図る。 ・児童生徒の障がいや病気の理解、感染症対策について深められるように、職員研修会を実施する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・健康状態を把握し、それを生かした保健指導、体育的活動により児童生徒の意識や生活の向上・改善ができたか。 ・保護者や関係諸機関と連携して各種会議を進め、意見や助言を取組や対応に生かすことができたか。 ・健康支援に関する現状や知識、対応等についての職員へ周知し、共通理解を図ることができたか。
取組状況・実践内容等	・毎月1回保健だよりで児童生徒、保護者に向けて、保健目標の理解・啓発を行った。 ・医療的ケア検討委員会では、ケアの内容について検討を行い、安全で確実なケアが行えるように指導医から助言を受けた。 ・職員会においてアクシデント事例、感染症対策について共通理解を図った。また、てんかんへの対応について専門医による研修会を行った。
評価の視点	評価
①児童生徒の健康状態を把握し、それに応じた支援ができたか。	A ② C D
②保護者や関係諸機関等と連携を図り、児童生徒の実態に応じた対応ができたか。	④ B C D
③職員の共通理解を深め、健康支援に関する意識を高めることができたか。	④ B C D
成果・課題	総合評価

○児童生徒の健康状態、教室環境の把握を確実にし、それを生かして、個別に健康に関する支援を行ったり、感染症の拡大を防いだりすることができた。 ○指導医の助言を受け、医療的ケアを安全、確実にすすめることができた。 ▲医療的ケアや薬の服用、感染症対策等については、より組織的に様々なケースに対応できるようにしていくことが求められている。		A ㊸ C D
来年度に向けての改善方策案	・医療的ケア、服薬、食物アレルギー、感染症等への対応について、さらに適切に組織的な対応できるように整備を進める。	

学校関係者評価 （平成30年 2月 1日実施）

意見・要望・評価等 ・インフルエンザが流行する時期に入り、きめ細かな対策、対応がなされています。
